

第 15 回 全国大会・研究発表大会 ベストペーパー賞 受賞記

慶應義塾大学大学院 小関健太郎

この度はベストペーパー賞という形で研究発表を評価していただき、大変光栄に思います。学会ご関係者および大会参加者の皆様に、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

発表では、先行研究における、専門知識と周辺知識を組み合わせた質問応答について、その拡張を念頭に、オントロジーに基づく知識表現の観点から、抽象的な知識を体系化した知識ベースである上位オントロジーを用いたオントロジー統合手法を提案しました。提案手法は、専門知識に関するドメインオントロジーと汎用的な大規模オントロジーを組み合わせる上でのいくつかの課題を解決することを図っています。また、オントロジー統合に基づく質問応答のモデルケースとして、知識の組み合わせや推論の利用が有効なセンター試験世界史正誤判定問題への適用の概略を示しました。

本研究のモチベーションのひとつは、その重要性が指摘されながらも、現状ではオントロジー構築における概念的・方法論的基盤としての利用が中心である上位オントロジーがさらにもどのような具体的役割を果たしうるのかを、システムにおける実際的な利用の観点から検討することです。この点で研究は萌芽的なものですが、抽象性・普遍性が特徴である上位オントロジーは哲学におけるオントロジー（存在論）研究とも特に関わりが深く、その利用における新しいアプローチは知識や情報に関する根本的な諸課題にも接続するものと期待しています。また、応用として取り上げている質問応答システムは、オントロジー研究の先駆者である T. グルーバーらの取り組みの流れを汲む Apple 社の Siri をはじめとして、モバイル端末やスマートスピーカー等に組み込まれることで、すでに実社会において身近なものになってきています。こうした理論的および社会的背景の両側面から、情報システムというより広い射程をもつ枠組みにおいても研究を通じて微力ながら貢献していければと考えています。

森田武史先生、山口高平先生には、研究の全体を通じてご指導をいただいております。発表においては大会参加者の皆様から示唆に富むご質問およびコメントをいただきました。改めて感謝いたしますとともに、ご指摘いただいた点も踏まえて引き続き手法の詳細な評価と改善を進め、合わせて別領域の質問応答への適用やその他の応用の検討についても、受賞を励みとして一層尽力していく所存です。